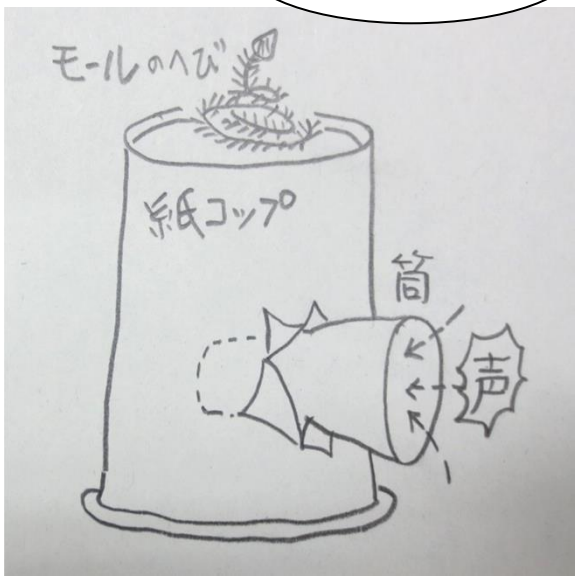
「あーで踊るへび」

【どんな実験なの？】
Ａ：運動に方向性があると、振動のエネルギーをあたえると動き出します。モールで作った「へび」を声の振動「あー」で踊らせてみましょう。
Ｂ：がた（振動するためのすきま）があると振動がまさつをとおして、回転にかわります。厚紙でつくった円盤を振動でまわしてみましょう。

【準備物】
Ａ：モール、はさみ、紙コップ、はがき大の厚紙、カッターナイフ
Ｂ：割り箸、押しピン、厚紙で作った円盤、はさみ

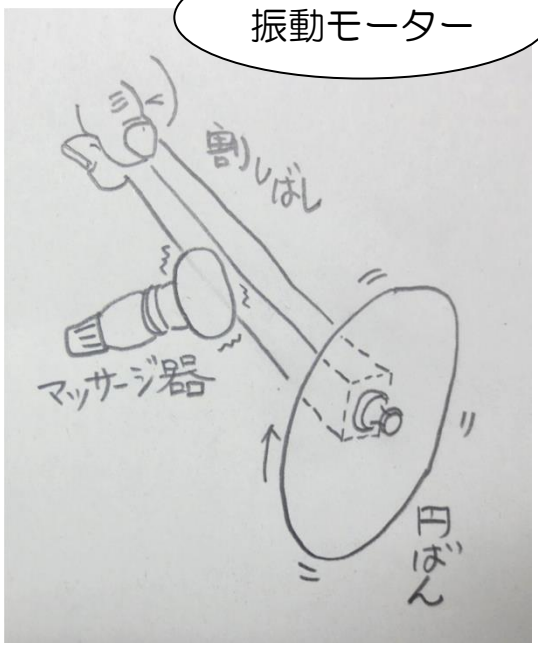
【作り方Ａ】
①厚紙で直径３～４cm ぐらいの筒をつくります。
②紙コップの横に穴を開け、この筒を差し込みます。
③モールを６cm ぐらいに切って、「とぐろ」に巻き、図のように紙コップの底にのせます。
④筒の端に、口をつけて「あー」と声をだしましょう。
⑤声の大きさや「いー」「うー」など、どの音でよく動くか試してみましょう。

踊るへび



【作り方Ｂ】
①厚紙を印刷のとおりに切り取ります。
②割り箸の先に、押しピンで、切り取った円盤を図のようにとめます。
③割り箸にマッサージ器などで振動をあたえます。
④マッサージ器のあてる場所をかえて、よくまわるところを探しましょう。

振動モーター



【気をつけよう】
①はさみやカッターナイフを人に向けないようにね。
②カッターナイフで手を切らないように。押しピンで手をつかないように。